

市議会6月定例会を開催

特集

いわき市議会六月定例会が、六月四日から十八日までの十五日間の会期で開催されました。議会では、一般・特別会計を合わせて、総額三十三億八千四百七十一万円に上る補正予算などが審議され、三十二議案が可決・同意されました。

市長からの行政報告

○新型コロナウイルス感染症の対応状況と緊急経済対策について

社会経済活動が本格化する中、感染者の急増に伴う



行政報告を行う清水市長

医療崩壊を防ぐため、県に要請した宿泊療養施設が確保されたことや、緊急経済対策として各種支援制度の相談窓口の開設、本市独自の支援策「店舗等維持支援金」の受け付けを開始したことなどを報告しました。医療従事者の皆さんや感染防止対策の徹底などにご協力いただいた市民・事業者の皆さんに、心から感謝を申し上げ、引き続き「新しい生活様式」の定着に向けた行動をお願いするとともに、社会経済活動の進展に向け、感染防止対策と経済・雇用対策を講じていくと述べました。

○「いわき市台風第十九号における災害対応検証委員会」における中間取りまとめの概要について

同委員会では情報伝達のあり方や、避難所開設・運営、避難行動のあり方について議論され、出水期前に早急に対策を講じる必要

があるとして、中間的な取りまとめが行われたことを報告しました。

速やかに課題を整理し対策を講じながら出水期に備えるとともに、検証を継続し、市民の皆さんや関係機関・団体などと連携し、将来にわたって「災害を克服する力強いまち・いわき」の構築に全力で取り組んでいくと述べました。

主な議案

○新型コロナウイルス感染症の影響による被害を受けた者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の制定について

同感染症の影響により担税力を著しく喪失した被保険者などに対し、税制面からの救済措置を講じるため、本条例を制定しました。

○いわき市共に創る健康づくり推進条例の制定について

りを総合的かつ計画的に推進し、市民の皆さんが生涯生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現に寄与することを目的に、本条例を制定しました。

- ・若松佐代子(新任)
- 潭渡財産区管理委員選任の同意を求めることについて
- ・若松和比古(新任)
- ・佐川真澄(新任)
- ・阿部長一(新任)
- ・若松敏(新任)
- 田人財産区管理委員選任の同意を求めることについて
- ・大竹好美(再任)



事業者支援の総合窓口を産業創造館に開設

主な補正予算

- ▶小・中学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業費=12億3,796万4千円
- ▶新型コロナウイルス感染症対策に関する経費=11億3,271万円
- ▶過年度発生災害復旧費=5億4,607万5千円

市あんしんコロナお知らせシステムの活用を



感染経路の見える化と新しい生活様式の定着により感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、QRコードを活用した市あんしんコロナお知らせシステムの運用を開始しました。

市では、感染拡大やクラスターの発生を防止するため、マスクを外す機会が多く、比較的滞在時間が長い飲食業・美容業などの事業者の皆さんに、同システムへの参加を広く呼びかけています。市民の皆さんが参加店舗へ足を運んだ際には、安全・安心確保のため、ぜひ同システムを活用してください。

参加店舗や申し込み方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。また、いわき応援大使でお笑い芸人のあかつが出演している解説動画を公開していますので、ご覧ください。



見てね!

お問い合わせ
産業創出課産業企画係
☎22・1194

行動把握と早期対応による感染防止対策が皆さんのあんしんにつながります

登録した方は、利用した店舗や施設において陽性者と接触した可能性を知ることができます。また、保健所が行う行動歴の調査に協力いただくことで、他の利用店舗や接触者を早期に把握し、さらなる感染拡大の防止につながります。



登録方法と特典・支援(★)など

